

CDP2024 コーポレート質問書概要

2024年4月

本資料について

本資料は、2024年3月に公開した「**Corporate Disclosure - Key changes for 2024: Part II**」の要点を概説したものです。

2024年のCDPを通じた企業の情報開示の変更点を説明していますが、すべてを網羅しているわけではないこと、また最終的にさらなる変更が生じる可能性があることをご理解ください。

CDP2024コーポレート質問書（完全版・SME版）は、4月末にウェブサイト上で公開予定です。また質問書の日本語版も後日公開予定です。

<本資料もくじ>

- ▼ CDP2024の主な変更点
- ▼ テーマ横断型質問の概要（モジュール1~6）
- ▼ 環境テーマ別質問の概要（モジュール7~12）
- ▼ スコアリングの変更点
- ▼ SME（中小企業）版質問書

Corporate Disclosure

Key changes for 2024: Part II

March 2024



CDP2024の主な変更点

すべての環境テーマを集約した1つの質問書

適切な企業に適切な質問を提示する

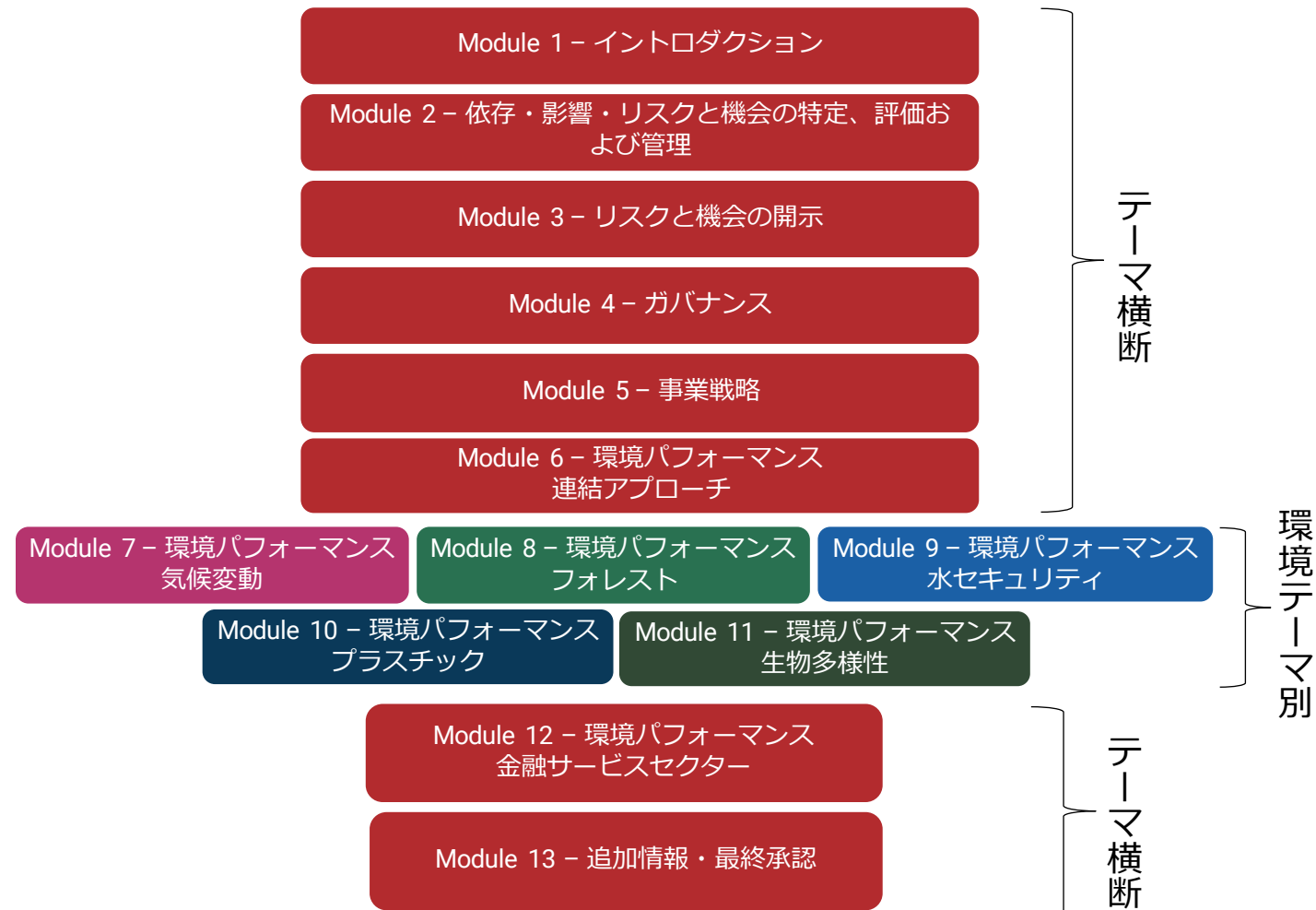


▼ これまでの、気候変動、フォレスト、水セキュリティの3つの質問書を一つに集約

- 複数の環境課題の相互関連性を認識し、総合的に捉える
- 事業、サプライチェーン、財務上の意思決定において、環境全般のリスク、影響、機会をより適切に評価できるようにする。
- ガバナンスや戦略といったコアの質問の重複を避ける。
- 気候変動と自然分野を統合した開示が求められている中、資本市場や取引先が必要とする情報、規制要件を満たす情報を網羅できるようにする。

▼ プラスチック、生物多様性は、すべての企業（SME除く）が対象に

コーポレート完全版質問書の構造



開示基準やフレームワークとの整合

世界中の重要な開示基準を一つの質問書で対応



▼TCFD提言

- 2018年から整合

▼IFRS S2号

- 関連質問はタグ付けされ、詳細なマッピングを説明した資料を作成中

▼ESRS（欧州サステナビリティ報告基準）、TNFDフレームワーク、米国SEC規則

- EFRAG、TNFDとのパートナーシップにより、今後整合性を高めていく
- 米国SECの規則案とは75%程度整合（最終規則との整合性を高めていく）



▼SME（中小企業）版質問書

- SMEのリソースに合わせて、より少ない質問数、簡素化されたフォーマット、充実したガイダンスを提供
- 2024年は気候変動分野のみSME版質問書を作成。フォレスト、ウォーター分野は最低限の質問のみカバー。

▼金融サービスセクター質問書

- 気候変動、フォレスト、水セキュリティのマテリアリティを網羅した、カスタマイズされた質問書。
- GFANZのコミットメントや、インベスター・アジェンダのICAP(投資家気候行動計画)に対する進捗をトラッキングし、合理的に報告できるようにする。
- PCAF基準との整合性を深める

テーマ横断型質問の概要

テーマ横断型質問の例①

一つの質問において、すべての環境課題について、それぞれ回答



【質問】 環境への依存、影響、リスクと機会について、特定、評価および管理するプロセスがありますか。

	プロセスの有無を回答してください	プロセスがない場合、その主な理由を挙げてください	プロセスがない場合、その理由について詳細を記述してください	この評価プロセスがその他の環境課題にも当てはまりますか
気候変動	回答選択肢： - はい - いいえ、しかし2年以内に導入予定 - いいえ、また2年以内に導入する予定もない	回答選択肢： - 重要だが、緊急性のある重要課題ではない - 重要でないと判断し、理由を詳述 - 社内リソース／能力の不足 - その他、詳述してください	文字記入欄	回答選択肢： - はい - いいえ
フォレスト	同上	同上	同上	同上
ウォーター	同上	同上	同上	同上
プラスチック	同上	同上	同上	同上
生物多様性	同上	同上	同上	同上

テーマ横断型質問の例②

一つの質問において、当てはまる複数の環境課題について回答



【質問】 どのように環境リスクと機会が貴社の事業戦略に影響を及ぼしていますか。

	環境リスクや機会が事業戦略に影響を及ぼしたかどうか	事業戦略に影響を及ぼしたリスクや機会に関連する環境課題	どのように事業戦略が環境リスクや機会の影響を受けたか説明してください
製品・サービス	回答選択肢： - はい、リスクのみ - はい、機会のみ - はい、リスクと機会の両方 - いいえ - 評価中 - 評価していない	回答選択肢（複数選択可）： - 気候変動 - フォレスト - ウォーター	文字記入欄
サプライチェーン・バリューチェーン	同上	同上	同上
研究開発への投資	同上	同上	同上
操業	同上	同上	同上

回答対象となるテーマの決定

	対象企業
 気候変動	全対象企業
 プラスチック 生物多様性	完全版質問書に回答する全対象企業（SMEと公的機関を除く）
 フォレスト	下記のいずれか一つを満たしている場合、対象となる（SMEは#2, 4のみ） 1. フォレスト分野で重要なセクターである a. 署名金融機関からの回答要請の対象企業として選定 b. 署名金融機関からの回答要請ではないが対象企業として選定 2. 回答要請機関（例：サプライチェーンメンバー）から、フォレストの回答要請を受けている 3. フォレスト分野の影響、依存、リスクと機会に関する自己評価で重要と特定 4. フォレスト分野に回答することを自ら選択
 ウォーター	下記のいずれか一つを満たしている場合、対象となる（SMEは#2, 4のみ） 1. ウォーター分野で重要なセクターである a. 署名金融機関からの回答要請の対象企業として選定 b. 署名金融機関からの回答要請ではないが対象企業として選定 2. 回答要請機関（例：サプライチェーンメンバー）から、ウォーターの回答要請を受けている 3. ウォーター分野の影響、依存、リスクと機会に関する自己評価で重要と特定 4. ウォーター分野に回答することを自ら選択

モジュール：質問書の設定

どの質問書の種類・環境テーマについて回答するかを決定



1. 組織について

- 報告年における年間売上高（USD）
- 従業員数
- 完全版かSME版どちらの回答を希望するか（SME版対象となりうる場合）

2. セクター分類

- CDP-ACSによるセクター分類の決定（主に売上高が大きい事業活動を基本として決定）

3. 環境課題の評価

- フォレストとウォーターの分野に関する、依存、影響、リスクと機会に関する簡易的な自己評価（詳細はモジュール2で回答）

4. 回答の意思表示

- 気候変動分野への回答
- 気候変動以外の分野への回答
- 回答提出の意思

5. 追加情報

- 回答するコモディティ（フォレスト分野の対象となる場合）
- 鉱業セクター（ACSで鉱業セクターと特定された場合）

※本モジュールの回答は公表されない
回答提出前まで設定を変更可能

モジュール1：イントロダクション

2024変更点

▼報告範囲

- 財務諸表と同じ報告範囲を使用して報告しているかどうかを示す
- 環境パフォーマンスデータ（GHG排出量など）の連結アプローチに使用する報告範囲はモジュール6で示す

▼バリューチェーンマッピング

- 環境への依存、影響、リスクと機会を効果的に特定、評価、管理するために、バリューチェーンにおける様々なアクターと、それらの相互関係を理解していることを示す
（以前はフォレスト質問書のみで回答）

質問内容					
回答言語	✓	✓	✓	✓	✓
通貨	✓	✓	✓	✓	✓
団体情報	✓	✓	✓	✓	✓
報告年	✓	✓	✓	✓	✓
報告範囲	✓	✓	✓	✓	✓
固有の識別番号（例：ISIN）	✓	✓	✓	✓	✓
操業国	✓	✓	✓	✓	✓
金融サービス活動	金融サービスセクターのみ				
事業活動	ハイインパクトセクターのみ				
コモディティ依存	✓	✓	✓		
バリューチェーンマッピング	✓	✓	✓	✓	✓
プラスチックマッピング				✓	
コモディティマッピング		✓			

モジュール2：依存・影響・リスクと機会の特定、評価および管理



2024変更点

▼ 時間軸

- 気候変動に加えて、フォレスト・ウォーター・プラスチック・生物多様性において、どのような時間軸で依存・影響・リスクと機会の特定、評価および管理と、戦略や財務計画に影響するか

▼ 依存と影響の特定、評価、および管理のプロセス

- リスクと機会に加えて、依存と影響（TNFDに整合した考え方）についても特定、評価、管理のプロセスを説明
- 気候変動では評価に用いたツールを選択式で回答。評価で考慮するリスク種別を選択式で回答。
- ウォーターでは評価プロセスの各ステップの根拠について回答不要。

▼ 依存、影響、リスク、機会の相互関連性の評価

- あらゆる環境課題を総合的に検討し、環境テーマ間のトレードオフ、相乗効果、相互関連性を評価

▼ 優先地域

- 重大な依存や影響のある場所について優先順位をつけて特定したか
- バリューチェーンのどの段階で優先順位の高い場所を特定したか

▼ 重大な影響

- リスクと機会の文脈で、事業への重大な影響をどのように定義するかを示す、閾値などの定量的な数値

					
時間軸の定義	✓	✓	✓	✓	✓
依存・影響・リスクと機会の特定、評価および管理のプロセス	✓	✓	✓	✓	✓
優先地域		✓	✓		✓
重大な影響の定義	✓	✓	✓	✓	✓
汚染管理手順			✓		
鉱滓ダム管理手順			鉱業・石炭セクター		

モジュール3：リスクと機会の開示

2024変更点

▼リスク開示

- 物理的リスクと移行リスクに対して脆弱な関連財務指標の金額と割合を提供することにより、環境リスクの重大な影響に対する資産と事業活動の脆弱性を定量化
- 報告年度においてリスクに対応するために投入した設備投資額を回答
- 時間軸ごとに定量的または定性的な財務影響を回答

▼機会開示

- 関連する財務指標の金額と比率を記入することで、環境機会との整合性を定量化

質問内容					
リスク開示	✓	✓	✓	✓	✓
河川流域ごとのリスクエクスポージャー			✓		
規制遵守と罰金			✓		✓
カーボンプライシング、排出規制、炭素税	✓				
自然災害関連の保険金支払いに関連する予想最大損失額	✓	✓	✓	✓	✓
機会開示	✓	✓	✓	✓	✓

モジュール4：ガバナンス

2024変更点



▼ ガバナンス構造、環境課題の監督と能力

- 取締役会やそれに準ずる組織がある場合、取締役会の構成、開催頻度、取締役会のダイバーシティ&インクルージョンの方針
- （取締役会がある場合）環境課題に対する説明責任を負う役職、説明責任が取締役会に適用される方針に文書化されているか、環境課題に対応する能力を有しているかどうか、有している場合は、その能力がどのように維持されているか
- （取締役会がない場合）環境課題に対する経営層の責任と能力

▼ インセンティブ

- 環境課題に関連する金銭的インセンティブと、金銭的インセンティブ全体に対する割合
- 非金銭的なインセンティブについては質問なし

▼ 環境方針

- 環境方針のカバー範囲、内容、公開の有無。
- （金融サービスセクター）方針の中に、投融資先に対して気候変動・フォレスト・ウォーター・生物多様性に関する要求、エクスクルージョンを含んでいるか。またこのような方針を反映するために融資契約において使用するコベナントの詳細
- （金融サービスセクター）気候変動・フォレスト・ウォーターに関する基準を保有資産に組み込んだ年金スキームの提供

▼ 政策エンゲージメント

- 法律、規制、政策に関する、政策担当者、業界団体、その他機関、個人との協働

質問内容

取締役会の監督

取締役会の能力

経営層の責任

経営層の能力

インセンティブ

環境方針

年金スキーム

外部の協働フレームワーク
やイニシアチブ

政策エンゲージメント

コミュニケーション・報告

モジュール5：事業戦略



2024変更点

▼ シナリオ分析

- 評価の頻度、対象となる時間軸、考慮するリスクやドライビングフォースの種類を選択し、シナリオ選択の根拠を説明（フォレストも含む）
- （ウォーター）定性的か定量的評価か、分析の対象範囲についても追加。
- シナリオ分析によって影響を受けたビジネスプロセス、シナリオ分析の結果、他の環境課題への影響

▼ 移行計画（気候変動のみ）

- 1.5℃の世界と整合していない移行計画がある場合も開示できる
- 化石燃料の拡大に関連する活動を止めることを約束したかどうか、移行計画が依拠する主要な前提条件と依存関係、および移行計画に対する進捗
- 気候変動以外の他の環境課題も考慮しているか

▼ リスクと機会が戦略および財務計画に及ぼす影響

- 財務計画、戦略計画、移行計画などの意思決定において、環境リスクと機会を考慮することによって環境課題を事業戦略レベルで検討し対応しているかどうかを示す。

▼ CAPEX/OPEXの整合性

- EUタクソノミーを用いて、気候変動への対応とその支出・収益の整合性を開示する場合、2023年の気候委任法の改正により、同タクソノミーの対象となる新たな活動に関する適格性情報を開示できる。

▼ 環境外部性のプライシング

- 気候変動とウォーター以外の環境課題に関する内部価格付けも開示可能
- （気候変動）価格を算定する際に使用した方法論と主要前提条件、価格が目的を達成していることを確認するためにモニタリングと評価を行っているかどうか
- （ウォーター）価格の種類、目的、考慮した要素、適用範囲、空間的・時間的变化、ビジネス上の意思決定への適用方法、価格などを新たに開示

モジュール5：事業戦略 - バリューチェーン協働



- エンゲージメント活動の影響を評価するための成功を測る定量的な指標の設定
- サプライヤーの依存と影響を評価・分類するためのアプローチや、サプライヤーの環境要求事項への不遵守に対処するための方針を開示する
- 森林減少やその他の自然生態系の転換が起こりやすい地域からコモディティを調達する場合、第三者によって検証された森林減少なしの基準に対する数量レベルでの遵守を確保するための包括的なサプライチェーン管理の実践が推奨される。
- サプライヤーと積極的に協力し、その事業活動全体にわたって森林減少ゼロを遵守するよう促進し、達成するよう求められる。

▼ サプライヤー評価と優先順位づけ

- サプライヤーを環境への依存や影響に応じて評価し、重大な依存や影響のあるサプライヤーを特定しているかどうか
- (サプライヤーを特定している場合) サプライヤーの依存や影響に関する評価基準や分類基、評価基準や分類の閾値。重大な依存や影響のあるサプライヤーのうち、特定の環境要求事項の遵守を義務付けられているサプライヤーの割合と、アクションを推進するために直接エンゲージメントをしているサプライヤーの割合。
- 特定のサプライヤーを優先してエンゲージメントしているか
- (エンゲージメント対象の優先順位をつけている場合) どのような基準で優先順位をつけているのか、また、優

先順位をつけることによってどのようなベネフィットを最大化することができるのか。(優先順位付けの基準は、ESRS、SBTi、TNFDに整合)

▼ 環境要求事項

- 環境要求事項に対するサプライヤーの不遵守に対処するための方針を持っているかどうか

▼ 議決権行使（金融サービスセクターのみ）

- 投資先へのエンゲージメント活動と並行して、環境課題に関する議決権をどのように行使しているか
- 議決権行使やエンゲージメント活動の結果が、どのように投資意思決定プロセスに反映されるか

モジュール5：事業戦略

質問内容			
シナリオ分析	✓	✓	✓
移行計画	✓		
リスクと機会が戦略および財務計画に及ぼす影響	✓	✓	✓
戦略・移行計画に整合したCAPEX/OPEX/収益	✓		
低炭素技術・活動への研究開発投資	✓		
CAPEXの内訳、損益分岐点	電力・石油ガスセクター		
CAPEXのトレンド			✓
環境外部性のプライシング	✓	✓	✓
バリューチェーン・エンゲージメント (サプライヤー／顧客／投融資先／小規模農家※)	✓	✓	✓
協働の機会	顧客から回答要請を受けている場合		
サプライヤーやアセットマネージャーに対する環境要求事項	✓	✓	✓
議決権行使	金融サービスセクター		

注) プラスチック・生物多様性については割愛

※小規模農家とのエンゲージメントはフォレストのみ

モジュール6：環境パフォーマンス - 連結アプローチ



2024変更点

- ▼モジュール7～10の環境テーマ別の質問において開示するデータに関する報告範囲
- ▼IFRS S2に沿って、連結アプローチの選択の根拠を示す

環境テーマ別質問の概要

モジュール7：環境パフォーマンス – 気候変動



2024変更点

▼ IFRS S2との整合による変更点

- スコープ1と2の排出量の内訳に関する質問
- 排出量、目標、炭素クレジットに関する質問が改訂

▼ その他

- SBTiのバリューチェーンを超えた緩和（BVCM）と整合

質問内容

排出量算定基準・算定除外	
・ 報告年の変更	
・ 算定基準	
・ 算定除外	
・ 基準年排出量	
スコープ1, 2, 3排出量インベントリ	
・ スコープ1, 2, 3データと再報告	
・ スコープ1, 2, 3の第三者検証	
・ スコープ1+2の排出実績	
生物起源炭素	
農業コモディティの排出量	
排出量内訳	
・ スコープ1+2+3の排出内訳	
・ 顧客に対する排出量	顧客要請

エネルギー関連活動	
・ エネルギー関連活動	
・ 再エネ調達の障害	RE100
・ 原料としての利用	化学、鉄鋼セクター
送配電 電力セクター	
生産データ	
・ セクター別生産単位	石炭、石油ガス、化学、金属・鉱業、鉄鋼セクター
原単位・効率性指標	
その他気候変動関連指標	
目標	
・ 排出削減目標	
・ その他の気候関連目標	
・ メタン目標	石油ガス、石炭セクター

排出削減活動	
・ 削減活動	
・ サプライチェーンにおける協働機会	顧客要請
利用可能な最善の技術	セメント、鉄鋼セクター
炭素固定（CCS）	石油ガスセクター
土地管理活動	農業、食品飲料、製紙林業セクター
ライフサイクル排出量評価	建設、資本財、不動産セクター
製品レベル排出量	顧客要請
低炭素製品・サービス	
・ 低炭素製品・サービス	
・ ネットゼロ建築物	建設、不動産セクター
プロジェクトベースの炭素クレジット	

モジュール8：環境パフォーマンス – フォレスト



2024変更点

▼ 質問書全体でコモディティ別に対応するのではなく、質問項目によってコモディティ別の質問を導入

- コモディティ別の質問はモジュール8で回答
- フォレスト全体に関する質問はテーマ横断型質問のモジュールで回答
- コモディティ別のスコアではなく、単一のフォレストスコアとしてスコアリング

▼ コモディティ量の開示

- モジュール1で生産／調達した「コモディティの総量（トン）」を開示。
- 開示内容に含まれるコモディティの量（「開示量」）と、関連する「生産量」や「調達量」を開示
- モジュール8でコモディティ量について回答する場合はすべて、上記の「開示量」に関連するデータとなる

▼ 組み込み（生産・製造において使用された）大豆

- 組み込み大豆とは、畜産物（食肉等）、養殖魚、乳製品、卵、その他の畜産物を生産する際に、飼料として間接的に使用される大豆。大豆や大豆製品を直接調達していなくても、動物性製品の調達による大豆の影響を考慮する必要があり、動物性食品を調達している組織は、バリューチェーンに大豆が組み込まれている可能性が高く、大豆の「開示量」に組み込んで情報を開示すべき
- 組み込み大豆に関連する量とその算出方法、組み込み大豆の原産地の可視性、森林減少と自然生態系の転換のない状態に関する新規質問

▼ 森林減少、自然生態系の転換なしの目標

- 開示したコモディティについて、森林減少や自然生態系の転換を行わない目標を設定しているか、その目標に関する目標日、期限、目標対象範囲、使用した定義等。

▼ DCF（森林減少および/または自然生態系の転換がない）量

- 直接事業とバリューチェーン上流において、森林減少がない（DF）または森林減少と自然生態系の転換がない（DCF）と評価、判断したコモディティ量の割合。DFまたはDCFと決定するための方法論。

モジュール8：環境パフォーマンス – フォレスト



2024変更点

▼ トレーサビリティ

- 調達量に関して、トレーサビリティポイント（国、調達地域、生産単位）の内訳と、原産地不明の割合の内訳

▼ ランドスケープ・管轄アプローチ

- ISEALの新たなガイダンスに基づき、イニシアティブにおける投資、行動、成果に関する主張があったかどうか、またその主張に関する詳細。

質問内容

算定除外
コモディティ内訳
- 生産／調達したコモディティ量の内訳 - 組み込み（生産・製造において使用された）コモディティ
所有／管理している土地利用とその場所（生産量）
コモディティの調達場所（調達量）
バイオ燃料
コモディティ別目標
トレーサビリティ

DCFを特定する指標とDCFの基準
- 認証 - 生産単位のモニタリング - 調達地域のモニタリング
DCFに向けた進捗状況
- 森林減少、自然生態系の転換フットプリント - 非DCFに向けた活動
販売した認証コモディティ量
排出量
法令順守
ランドスケープ・管轄アプローチ
活動
生態系回復プロジェクト

顧客要請のみ
顧客要請のみ

モジュール9：環境パフォーマンス – ウォーター



2024変更点

▼ 施設レベルの情報

- 重大な水関連の依存、影響、リスクと機会が特定された施設に関する情報
- 直接事業とバリューチェーン上流において上記を特定した施設の数
- （重大な水関連の依存、影響、リスクと機会が特定された施設がある場合）施設別の取水、排水

▼ 水関連目標

- 設定している目標がグローバルな環境関連の条約に合致しているかどうか、目標を達成するための計画、目標の達成または維持に資する行動

質問内容

算定除外

全社的な水会計

施設レベルの水会計と第三者検証

水の効率性と原単位

製品・サービス

水関連目標（水量・水質・WASH・その他）

顧客要請のみの質問も含む

顧客要請のみの質問も含む

モジュール10：環境パフォーマンス – プラスチック

モジュール11：環境パフォーマンス – 生物多様性



プラスチック

2024変更点

- ▼ SMEと公的機関を除くすべての企業が対象
- ▼ プラスチックの影響が大きいセクターにはより幅広い質問
- ▼ 全てのバリューチェーン/ライフサイクルをカバーする質問



生物多様性

2024変更点

- ▼ SMEと公的機関を除くすべての企業が対象

モジュール12：環境パフォーマンス – 金融サービスセクター

2024変更点

- ▼ 重要性がある場合、プラスチックと生物多様性質問も導入
- ▼ PCAF基準との整合性を深める
- ▼ サステナブルファイナンス・タクソノミーに沿った、融資と保険に関する新質問を導入

スコアリングの変更点

スコアリング

					
スコアリングの有無	✓	✓	✓		

2024変更点

▼フォレスト

- コモディティ別のスコアではなく、フォレストとして一つのスコア
- フォレストスコア = コモディティ共通部分の採点 + コモディティ別の採点
- コモディティ別の採点に考慮されるのは、木材・パーム油・畜牛品・大豆。
- 4つのコモディティを生産／調達している、依存に関する情報が提供されているにもかかわらずコモディティ別の情報を開示していない場合はスコアに影響する可能性がある

▼金融サービスセクター

- ウォーター関連のスコアリングを初めて導入
- フォレスト、ウォーターのスコアは非公開

スコアリング - 気候変動変更点



▼ スコアレベルごとの必須要件の設定

- Aリスト要件だけでなく、スコアレベルごとに必須要件を定める（2024年は気候変動のみ）

必須要件	認識 レベル以上	マネジメント レベル以上	リーダーシップ レベル以上	Aリスト
ガバナンス	気候変動に関する取締役会レベルの監督（取締役会がない場合は経営層の責任）がある		- シニアレベルに対して気候関連の金銭的なインセンティブを設定している - 政策エンゲージメントが気候に影響を与える可能性があるかどうかを理解し、透明性をもって開示する 1.5℃に整合する気候移行計画を設定している	
プロセス	リスク評価のプロセスに気候変動を含め、その結果を戦略策定に活用する			
野心			- スコープ1,2の95%以上、スコープ3の第三者検証 - ハイインパクトセクターは、主要なセクター別指標に関する実績を開示	- SBTiの認定を受けた短期の排出削減目標または1.5℃シナリオに整合した削減目標を設定（金融サービスセクターはポートフォリオ目標を設定） - スコープ1,2の100%、スコープ3最低一つのカテゴリーで70%以上の第三者検証 - 燃料消費またはエネルギー生成活動の詳細を開示

SME（中小企業）版質問書

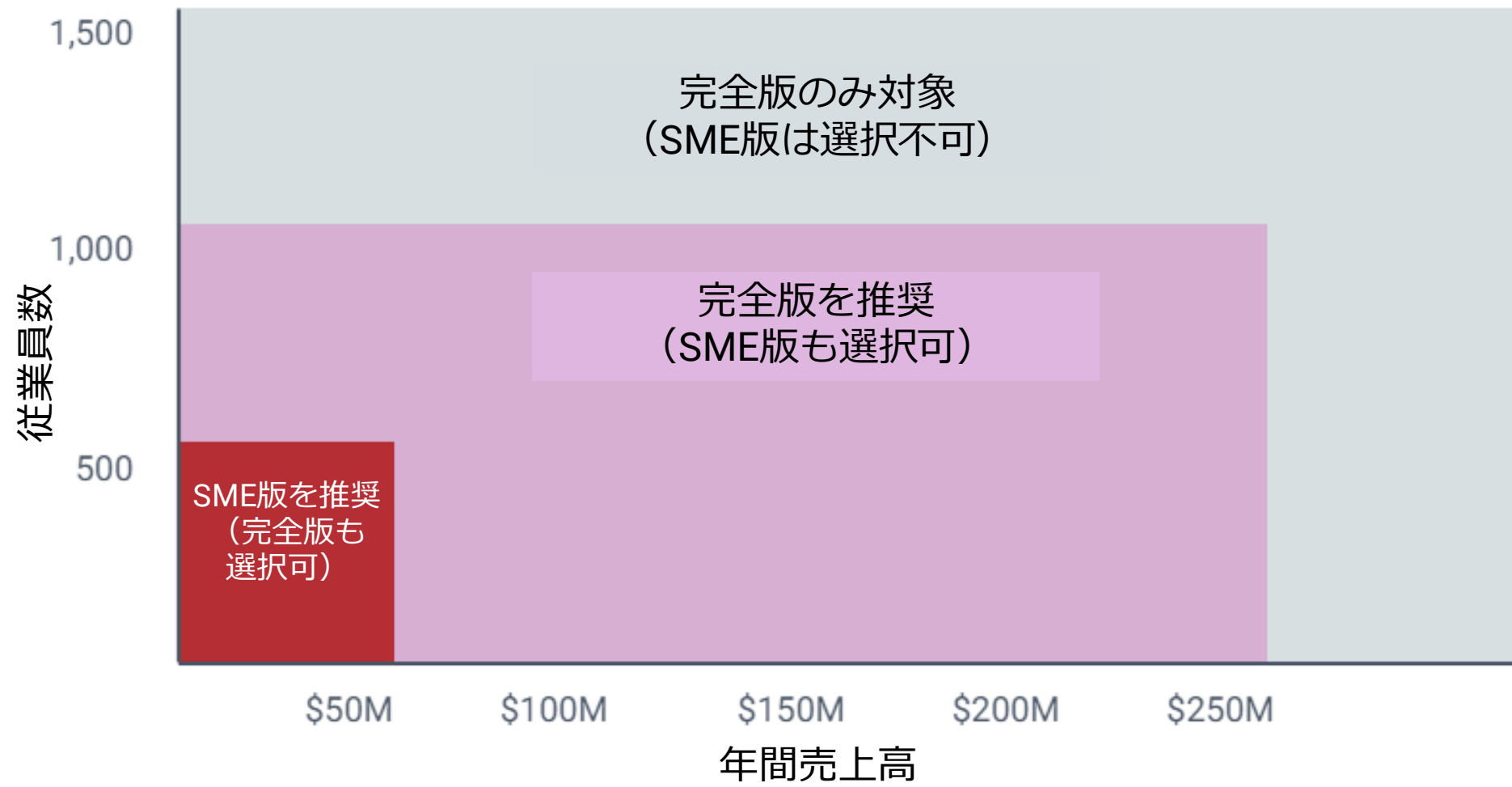
SME（中小企業）版質問書概要



- ▼ SMEに対してグローバル基準の情報開示を求める
- ▼ 簡易版質問書はなくなる
- ▼ モジュールの構造など完全版質問書と整合させるが、質問項目数を減らし、質問形式を簡素化し、根拠を強化し、質問ガイダンスを充実させることで、質問項目内に含まれるデータポイントが中小企業にとって開示することが特に重要であることを理解できるようにする
- ▼ まず気候変動分野に焦点をあてる。フォレスト・ウォーターについては最低限のデータポイントに抑える。（スコアリングは気候変動のみ）
- ▼ さまざまな開示要請機関からの要請に対応可（サプライチェーンメンバー、バンクプログラムメンバーなど）

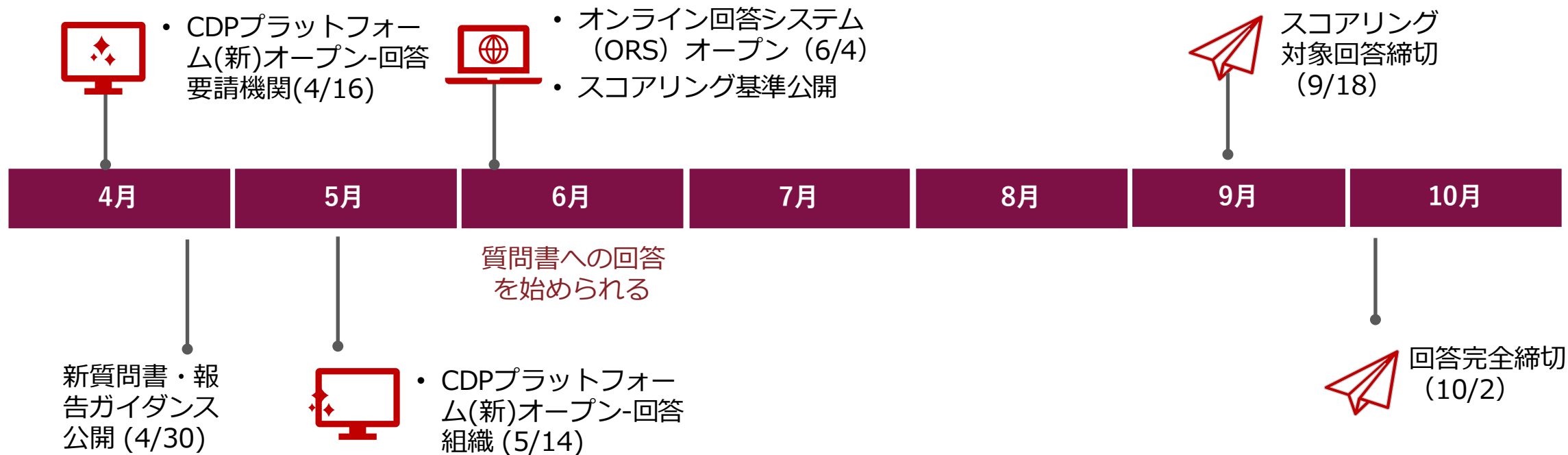
SME質問書対象企業

年間売上高（USDベース）と従業員数により決定



イントロダクション	
依存・影響・リスクと機会の特定、評価および管理	リスクと機会の特定、評価および管理プロセス
リスクと機会の開示	- リスク開示 - 機会開示
ガバナンス	- 環境課題に対する責任 - 環境関連の方針
事業戦略	- 戦略や財務計画へのリスクと機会の影響 - 移行計画 - バリューチェーンエンゲージメント - 協働の機会（顧客要請のみ）
環境パフォーマンス - 連結アプローチ	
環境パフォーマンス - 気候変動	- 排出量算定基準と算定除外 - スコープ1, 2, 3排出量インベントリ - 排出量内訳（顧客要請を受けている場合、事業活動別の内訳） - エネルギー関連活動 - 目標 - 排出削減活動 - 製品レベルの排出量（顧客要請のみ）
環境パフォーマンス - フォレスト	- 算定除外 - 現在の状況の指標 - コモディティ別目標 - トレーサビリティ - DCFを特定する指標とDCFの基準 - 販売した認証コモディティ量（顧客要請のみ） - 排出量（顧客要請のみ）
環境パフォーマンス - ウォーター	- 算定除外 - 全社的な水会計 - 施設レベルの水会計 - 顧客に関連する施設への水の影響（顧客要請のみ） - 製品の水原単位（顧客要請のみ） - 水関連目標
最終承認	

(参考) 2024スケジュール





CDP Worldwide-Japan

Address: 東京都千代田区丸の内2-5-1 丸の内二丁目ビル7階



japan.cdp.net (日本語サイト)